

特定電気用品適合性検査手数料の算出方法

平成 29(2017)年 4 月 1 日

特定電気用品適合性検査手数料にあつては、以下の「試験料＋設備確認料」の合算額とします。

1. 試験料

「品目別標準試験料＋部品試験料」の合計額^{※1}

※1：定格が 2 以上のもの（例：50/60Hz）にあつては、品目別標準試験料の 1.2 倍（配線器具にあつては 1.3 倍）の額とします。また、技術上の基準を定める省令の解釈別表第十二（旧省令 2 項）を適用する場合は、試験工数に応じて見積もった額とします。

2. 設備確認料（工場毎）

現地確認料 又は 書面確認料

● 差込プラグ（125V、15A、ビニルコード一体成形品）の手数料の例

（単位：円，消費税別）

試験料 ^①		設備確認料 ^②		費用概算 ^{①+②}
品目別標準試験料	部品試験料	現地確認料	書面確認料	
94,000	233,000 ^{※2}	84,000＋旅費	－	例 1：411,000＋旅費
94,000	233,000 ^{※2}	－	14,000	例 2：341,000
94,000	－ ^{※3}	84,000＋旅費	－	例 3：178,000＋旅費
94,000	－ ^{※3}	－	14,000	例 4：108,000

※2：ビニルコード（無表示品）の場合／※3：ビニルコード（◇PSE 表示品）の場合

● 観賞魚用ヒーター（単相、100V、20W、自動温度調節器あり）の手数料の例

（単位：円，消費税別）

試験料 ^①		設備確認料 ^②		費用概算 ^{①+②}
品目別標準試験料	部品試験料	現地確認料	書面確認料	
131,000	25,000 ^{※4}	84,000＋旅費	－	例 1：240,000＋旅費
131,000	25,000 ^{※4}	－	14,000	例 2：170,000
131,000	107,000 ^{※5}	84,000＋旅費	－	例 3：322,000＋旅費
131,000	107,000 ^{※5}	－	14,000	例 4：252,000

※4：自動温度調節器（CMJ 登録品）の場合／※5：自動温度調節器（CMJ 未登録品）の場合

以上